



JA だより



—自然のめぐもりと暮らしたくて—



謹賀新年



新年を迎えて

しずない農業協同組合代表理事組合長 片岡 禹雄



謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

組合員の皆様には、ご家族とともにご健勝で新年を迎えられたことを心よりお慶び申し上げます。

今日の経済・社会情勢は、税と社会保障、経済政策、原発、領土問題をはじめとした外交、そして、TPP交渉参加問題など今後の日本の在り方が問われる重要な諸問題が山積しております。

経済政策では、長期化する経済低迷の中で、実効性のある成長戦略が求められていることからインフレ率の目標設定が不可欠な情勢となっております。

外交政策では、中国や韓国との

領土問題に端を発して、日・中韓関係は悪化し、国内経済に大きく影響し、日米関係とともに近隣諸国・アジア地域との良好な関係をどう構築していくか重要な局面を迎えております。

今後の国の在り方を左右するTPP(環太平洋連携協定)については、一昨年11月、野田首相が交渉参加に向け、関係国との協議入りを発表したことは、例外なき関税撤廃と金融・保険・医療・サービス業など幅広い分野の規制廃止は『この国のかたち』を一変させ、どの分野においても死活問題となっております。

JAGグループ北海道は、農林漁業をはじめ経済団体・消費者団体とともに「TPP交渉参加の断固阻止」運動を展開して参りました。

昨年の12月には、税と社会保障、原発被災地の復興対策、外交問題、TPP交渉参加など課題山積の中で、国民に真が問われる民主党政権下で初の国政選挙が行われましたが、16日の国民の審判で自民党

が圧勝し、3年前に明け渡した政権を奪還しております。次期政権を担う自民党に対しては、農政の安定と地方再生を託した農家の声を受け止め、「聖域なき関税撤廃を前提にする限り交渉参加反対」という公約の堅持を求めていく運動に引き続き取り組んで参ります。

JAGグループを巡る動向は、第26回JAG全国大会及び第27回JAG北海道大会(平成24年11月21日開催)が開催され、地域におけるJAの役割について、1「持続可能な本道農業の実現に向けた運動の展開」、2「次代を担う協同」の実践について決議されています。

今後もJAGグループの一員として、この実践に努めて参ります。

昨年の地域農業については、世界規模での異状気象が続く中、8月～9月における連日の高温多湿で農畜産物への障害が心配されましたが、大きな影響もなく、また、各作目とも収穫時期の天候にも恵まれたことから、総じて豊穡の秋を迎えることができ、全体の取り扱い数量及び金額で当初計画額を上回る実績となりました。

今日の経済不況で、消費低迷による売り上げ不振が続いているな

か、地域の基幹5品目は各振興会を中心に「安全・安心・良品質確保」に取り組んできた成果であり、各位のご労苦に敬意と感謝を申し上げます。

中でも戦略作目として位置付けているミニトマト「太陽の瞳」については、安定収入が見込めることから他産地との競争が続く中にあつてもブランド商品として、需要が高く、猛暑での収量減にもかかわらず、高値で推移し、前年同様7億円を突破することが出来ました。

黒毛和牛については、震災後の放射性セシウム問題により牛肉の消費減少に加え、国内経済の減退により枝肉価格の低迷など厳しい情勢が続きましたが、良質牛の出荷により計画及び前年実績を上回る取り扱いとなりました。

当地区の農業粗収入の50%超を占める軽種馬については、地方競馬場の廃止などにより、販売不振と価格低迷が続いていることから、依然として厳しい情勢下にありません。このため飼養戸数及び頭数も年々減少しております。

市場販売頭数及び販売額は、567頭、19億8300万円、

前年同期比で15頭、2億7000万円の増加となりました。

また、昨年は静内産馬のGI優勝馬が4頭輩出されたことで、久方振りに産地に明るさが戻ってまいりました。改めまして生産牧場の皆様にお祝いを申し上げます。

ホツカイドウ競馬の開催結果については、国内経済の不況により、各公営競技で厳しい情勢が続いておりますが、昨年は80日間の開催で馬券発売額は計画比100・1%、前年比103・7%の120億円となりました。

開催期間中は、関係者と地域の皆様が一丸となって、ご支援を頂いた賜と心より感謝し、お礼を申し上げます。

更に本年は3月を目途にAiba静内が売場面積を拡大した中で新装オープン致します。各位には、これまでと変わらぬご支援をお願い申し上げます。

本年も皆様をはじめ、ご家族にとりまして、実り多い良い年でありますようご祈念申し上げます、新年の挨拶と致します。



謹んで新年のご祝詞を申し上げます

代表理事組合長

片岡 禹雄

副組合長

西村 和夫

常務理事

千葉 利一

理事

荒木 孝孝

伊藤 佳幸

小倉 正信

片岡 博成

谷岡 康成

泊岡 寿幸

中道 雅則

信用担当理事
兼金融部長

前田 裕志

代表監事

渡辺 隆

監事

太田 勝之

山口 修二

管理部長

山岸 剛

経営融資部長

兼田 由和

営農部長

荒谷 昭二

経済部長

樗田 文明

外職員一同



年頭にあたり

北海道農業協同組合中央会会長 飛田 稔 章



組合員をはじめJA役職員の皆様方が、希望に満ちた平成25年の新春をご家族とともに迎えられたことを心からお慶び申し上げます。

昨年の北海道農業は、一部地域での豪雪の影響などにより農作業の遅れなどがありました。その後比較的天候に恵まれ、降雪被害や台風による被害などによって地域や作目による差はあるものの、組合員・JAの努力が報われ、総体的には豊穰の出来秋となりました。

さて、平成23年の東日本大震災から2年が経とうとしておりますが、復興への道筋は決して容易なものとはなっており、また、原発事故の収束にも目途が立たず、全国の農業者や消費者は不安を抱

えています。

JAグループは、被災地の復興に向けてあらゆる支援を続けていくこと、安全・安心な農畜産物を安定的に消費者の皆様にお届けすることに今こそ協同組合の精神である「絆」を大切にする価値観のもとで、総力を挙げて取り組むことが必要です。

なお、今冬は電力不足の可能性から、北海道では今夏の取り組み同様に7%以上の節電目標が設定されました。

もし万が一にも計画停電となつた場合には、相当の支障が生じることが危惧されることから、JAグループ北海道として節電に取り組んでいく必要がありますので、皆様方のご理解とご協力をお願い致します。

さて、本年は『協同活動でつくる持続可能な農業と地域社会』を主題に開催した第27回JA北海道大会決議事項の実践初年を迎えます。本大会は向こう3カ年間のJAグループ北海道の目指すべき方向を決定し、これを内外に表明するとともに組合員ならびに役職

員の意識高揚を図り、総力を結集して決議事項の実践を図ろうとするものです。

大会決議事項の「持続可能な北海道農業の実現」では、日本の食料基地北海道として、安全・安心な農畜産物を生産し、安定的に消費者に提供するという使命を果たすために、持続可能な北海道農業の実現に向けて、必要な農業政策を国に求めていくとともに、自らも農業生産を担う多様な担い手の確保・育成、農業生産に意欲を持つて取り組める農業所得の拡大、食の安全・安心対策の実施と環境に配慮した農業の実践に取り組むことを決議しました。

一方、「次代を担う協同の実践」では、JAグループ北海道の組織・事業・経営において、JAの経営を担う次世代の担い手の正組合員加入を促進し、次代に向けてともに協同活動に取り組むこと、地域におけるライフラインの一翼を担うものとして、総合事業体の強みを生かし、組合員・利用者（地域住民）から高い満足度を得られるサービスを提供するため、自らがさらなる経営の健全性向上に取り組むこと、加えて、組織を支える人づくりとJAグループ北海道への理解醸成に向け広報活動に積

極的に取り組むことを決議しました。

また、TPP交渉参加断固阻止に関しては、多くの関係機関と連携の上、理解促進運動を継続し、組織の総力を結集し不転の決意で徹底して闘うことを特別決議として再確認しました。

大会決議に基づく基本目標の具体的成果に向け、JAグループ北海道の総力を挙げて取り組みましよう。

今後、景気の低迷や農業貿易交渉等の進展によっては、農業への影響が大きく懸念されますが、全道の組合員の皆様をはじめJA役員が『一人は万人のために、万人は一人のために』という協同組合の理念をよりどころにして、JAへの結集を強め協同運動を強力に展開することにより、この苦境を打開し未来を切り開くものと確信しております。

本年も災害がなく、豊穰の秋を迎えることができ、北海道農業の発展と成長を目指し、飛躍の年となりますよう心から祈念申しあげ、新年にあたってのご挨拶と致します。



新年にあたって

日高農業改良普及センター 所長 江森 健司



新年明けましておめでとうございます。
平成25年の新春を迎え、謹んで
ご挨拶を申し上げます。

昨年の農業を振り返ってみます
と、春先には天候不順に見舞われ
たものの、7月から9月にかけて
の好天にも恵まれ、最終的には各
作物ともほぼ平年を上回る生産を
あげることが出来ました。

基本技術の励行をはじめ、適正
な肥培管理、土づくりの推進など
生産者皆様の営農努力に対して敬
意を表します。

品目的に見ますと、水稲は全道
作況指数と同様「107」の高収
量となり、全体的にもタンパク、
アミロース含量が低く、食味の
大変良い米が生産されました。

牧草は一番草の収量・品質とも
に良好でしたが、二番草は8月か
ら9月にかけて高温・小雨のため、
収量的にはやや少ない傾向となり
ました。全体的には降雨にあたら
ず、良質の乾草が確保できました。
サイレージ用とうもろこしは春
先播種が遅れたものの、8月から
9月にかけての高温により登熟は
順調に進み、収量・品質的にも良
質なサイレージ用原料が生産され
ました。

野菜の主力でありますミニトマト
は生育期間を通して、果実の肥
大や品質が良好で収量的には前年
を上回りました。

肉牛の素牛出荷頭数は前年より
やや減少したものの、素牛販売価
格は出荷までの飼養日数が下回り
日増体重も増加したため前年を上
回る結果となりました。

一方、地域農業を支える軽種馬
生産は相次ぐ地方競馬の撤退や長
引く景気低迷の影響により依然厳
しい状況ですが、馬市場での売却
率や一頭当たりの販売価格などは
やや回復しております。

また、ホッカイドウ競馬の発売

成績が二年連続で計画・前年実績
を上回ることができ、中央競馬会
でも地域の生産馬が重賞レースで
優勝するなど明るい話題もありま
した。

今後も軽種馬生産の構造改革に
向けては強い馬づくりを推進し、
また、他作目（肉牛・野菜）への
経営転換の検討など現状の経営状
況を見直すなど、生産者・関係機
関が一体となり力をあわせて進め
ていくことが重要と考えておりま
す。

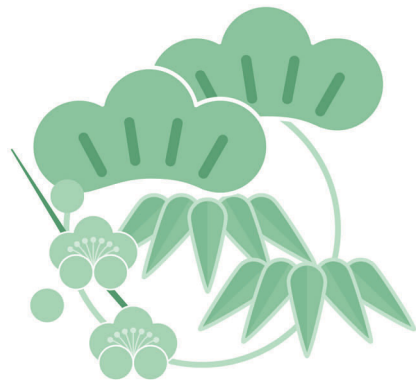
昨年12月には総選挙が実施され、
国内農業の方向性はまた不透明で
はありますが、T P P交渉への行
方など今後もさらに注意深く見て
いく必要があります。

日高農業改良普及センターは、
地域農業の重点課題の解決に向け
た普及活動を進めておりますが、
地域農業の維持・活性化のため
も地域農業の担い手の育成・確保
に力を入れ、安全・安心な農畜産
物生産体制の確立、地域ブランド
の育成・支援、農業の六次産業化
（高付加価値化）推進、協業法人
化の支援などの取り組みを進めて
いきます。

生産者・関係機関の皆様と連携
を密にして、地域から信頼される
普及活動に取り組んでいきたいと

考えておりますので、今後もお支
援をよろしく願います。

最後になりましたが、本年も、
皆様にとりまして輝かしい一年と
なることを心よりご祈念申し上げ、
年頭のご挨拶とさせていただきます。



新年に向けて

J Aしずない女性部部長 木田 正子



新年明けましておめでとうございます。
組合員、各関係機関の皆様にお

かれましては、新たな年をご家族
お揃いで健やかに迎えのことと
お慶び申し上げます。

昨年は、春先の天候不順により、
作物の生育に不安を抱かれた方も
多かったことと思いますが、夏場
に好天が続いたことや大きな災害
等もなく、各作物とも概ね良好な
作柄を確保することができました。

しかし、11月26日から27日、12
月6日から7日にかけて日高地方
を襲った暴風雪では、ハウスの倒
壊等をはじめ被害に遭われた方も
多く、胸を痛めております。

女性部活動では、しずない農業
まつりへの出店、もぎたて朝市や

A i b a 祭への参加等を通して、
部員間の交流を図りました。

しずない農業まつりでは、昨年
も秋らしい晴天に恵まれ、会場に
は多くのお客様が詰めかけ、毎年
好評を頂いているそばやかぼちゃ
しるを中心に一昨年以上の売上
を上げることができました。また、
「美味しくて、『安全・安心』と

いう評判が定着したもぎたて朝市
にも多くのお客様が来場し、一昨
年以上の売上結果を残すことがで
きました。

A i b a 祭では、5月と10月の
2度参加しましたが、ともに多く
の部員が参加し、競馬初心者も多
い中、レースでも大抽選会でも大
盛り上がり賑やかで楽しいもの
となりました。

このような活動を通して、更に
女性部活動の活発化を図っていけ
るよう今年も努めて参ります。

本年も組合員、各関係機関の皆
様や女性部員のご協力、ご支援を
お願い致し、実り多き年であるこ
とをご祈念し、新年のご挨拶させ
て頂きます。

新年を迎えて

J Aしずない青年部部長 中道 啓輔



新年明けましておめでとうございます。
組合員、各関係機関の皆様にお

かれましては、益々ご健勝のこと
とお慶び申し上げます。

昨年は、各作物とも例年通りも
しくは例年以上の収量を確保でき
たものの、春先には気温が上がり
ず、夏場には一転して気温の高い
日々が続くなど、各作物とも管理
が難しい一年だったことと思いま
す。

また、11月26日から27日、そし
て、12月6日から7日と立て続け
に胆振・日高地方に猛威を振るつ
た暴風雪では、多くの方が被害に
遭われました。私も被害に遭った
一農家として、痛恨の思いがあり
ますが、下ばかりを向かず、若さ

を武器に今年一年また前向きに頑
張っていきたいと思います。

昨年の青年部活動で、特に5回
目を迎えた当 J A 青年部主催のハ
ロウインには、多くの方が来場し、
主役である子どもたちがイベント
を楽しんでくれた姿も見て、
昨年もまた安堵感と充実感を青年
部員一同が感じることができまし
た。

また、今年はハロウインに続く
食育活動として、小学生を対象に
特産品であるミニトマトを使用し
た食育活動の実施を予定しており
ます。現在は、苗の配布や栽培に
関する出前授業などの実施を予定
しておりますが、子どもたちに地
域の農業をより身近に感じてもら
える新たな第一歩として、それが
より良いものになるよう様々なア
イディアを出し合い、部員一同取
り組んでいきたいと考えておりま
す。

本年も組合員の皆様をはじめ、
各関係機関の皆様にとりまして、
良き一年となりますことをご祈念
致しまして、新年のご挨拶と致し
ます。

狩猟免許試験のご案内について

狩猟免許試験申請手数料等の助成をします

平成24年度第4回狩猟免許試験が以下の通り実施されます。

当JAでは、わなの狩猟免許試験に必要となる申請手数料等（5,200円）を助成致します。助成を希望される場合には、狩猟免許申請書(写)を当JA営農部営農課まで、ご提出の程宜しくお願い致します。

1. 受付期間 平成24年12月18日(火)～平成25年1月18日(金)
※郵送の場合は、平成25年1月21日(月)までに到着したものに限りです。
2. 試験日時 平成25年2月3日(日) 午前9時～午後5時
3. 試験会場 日高合同庁舎4階講堂（浦河郡浦河町栄丘東通56号）
4. 受験資格 試験を受けるためには、次の全ての要件に該当しなければなりません。
 - ①20歳以上であること。
 - ②次の病気にかかっていないこと。
 - ア 総合失調症（精神分裂病）
 - イ そううつ病（そう病及びうつ病を含む。）
 - ウ てんかん（発作が再発するおそれがないものを除きます。）
 - エ アからウのほか、自己の行為の是非を判断し、または、その判断に従って行動する能力を失わせ、または、著しく低下させる症状を呈する病気。
 - ③麻薬、大麻、あへん、または、覚せい剤の中毒者でないこと。
 - ④①～③までに該当するものを除き、自己の行為の是非を判断し、または、その判断に従って行動する能力がなく、または著しく低い者でないこと。
 - ⑤鳥獣の保護及び狩猟の適正化に関する法律に違反して、処罰されたり、狩猟免許を取り消されたりした場合は、3年を経過していること。
5. 提出書類
 - ①狩猟免許申請書1通
 - ②医師の診断書（銃所持許可証のお持ちの方以外）1通、もしくは銃所持許可証(写)1通
 - ③顔写真1枚（免許申請前6ヵ月以内に撮影した無帽、正面、上三分身及び無背景の縦3.0×横2.4cmの写真。撮影年月日及び氏名を裏面に記入）
 - ④返信用封筒（受験票送付用1通）※申請様式につきましては、以下のいずれかのホームページからでもダウンロード可能です。
北海道ホームページ(<http://www.pref.hokkaido.lg.jp/ks/skn/sizenhome/shiken.htm>)
6. 手数料等 狩猟免許試験申請手数料等 5,200円（※この申請手数料を助成致します。）

問い合わせ先 **日高振興局保健環境部環境生活課自然環境係 TEL 0146-22-9254(係直通)**
JASUしない営農部営農課 TEL 0146-42-1051

理事会報告

11月理事会（16日）

1. 短期資金の貸付について

11月理事会（30日）

1. 長期資金の貸付について
2. 対策農家の一部資産処分及び債権処理について
3. 年末手当の支給について

静内農業青色自主申告会からのお知らせ 源泉所得税の納期特例納付期日について

既にFAXでお知らせしておりますが、源泉所得税の納期特例納付期日が以下の通りとなっております。

納付税額0円の場合でも納付書を税務署へ提出する必要がある、この納付書の提出がない場合には、専従者給与及びパート賃金が費用として認められない場合もありますので、提出の程宜しくお願い致します。

納付期日 平成25年1月18日(金)

問い合わせ先

JASUしない営農部営農課 TEL 0146-42-1051



年末・年始業務日程



区分	12月		1月							
	30日(日)	31日(月)	1日(火)	2日(水)	3日(木)	4日(金)	5日(土)	6日(日)	7日(月)	
下記以外の業									平常営業 8:30~17:00	
金融店舗									平常営業 8:30~16:00	
ATM	本所	ATM 9:00~12:00					ATM 8:30~18:00	ATM 9:00~14:00	ATM 8:30~18:00	
	役場									ATM 9:00~17:30
	豊畑	ATM 9:00~12:00					ATM 8:30~18:00	ATM 9:00~14:00	ATM 8:30~18:00	
	東静内	ATM 9:00~12:00	休業				ATM 8:30~17:30	ATM 9:00~14:00	休業 ATM 8:30~18:00	
Aコープ しずない店	平常営業 8:30~18:00	営業 8:30~12:00					平常営業 8:30~18:00	平常営業 8:30~18:00	平常営業 8:30~18:00	
本所給油所	営業 8:30~17:30	営業 7:30~12:00					営業 8:30~17:30	営業 8:30~17:30	営業 7:30~18:00 平常営業1月8日~ 7:30~19:00	
事業所給油所	営業 8:30~17:30	営業 8:30~12:00					営業 8:30~17:30	営業 8:30~17:30	平常営業 8:30~18:00	
日高中部農協 機械センター	自動車の事故処理(レッカー搬送)は、24時間受付しております。 TEL 0146-42-7051									

平成25年度 地区別懇談会日程表

平成25年度地区別懇談会を以下の日程で実施致します。

組合員の皆様には、万障お繰り合わせの上、ご出席いただきますようお願い申し上げます。

月日	時間	農事組合名	会場
1月24日 (木)	10時~12時30分	春立・東別一・東別二・東別三・西端	東別生活センター
	17時30分~20時	静内一・駒場・中野一・中野二・神森・昭和・真歌・有勢内・目名・田原・田原高台・桔梗・親和	目名生活改善センター
1月25日 (金)	10時~12時30分	浦和・あざみ・東静内・あけぼの・川合一・川合二・川合三・西川一・西川二・西川三	川合生活館
	17時30分~20時	御園・農屋・豊畑一・豊畑二・豊畑三・上豊畑・豊畑振興	豊畑生活館

※時間の都合のつかない方は、どちらの会場でもよろしいので、ご出席下さい。